立山黒部アルペンルート

第５２期　報　告　書

平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日

弥陀ヶ原ホテル

立山貫光ターミナル株式会社

事業概況（平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日）

平成３０年度の事業概況についてご報告申しあげます。

当期のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しましたが、その一方で、米国の通商政策による貿易摩擦の激化懸念を始めとする世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

観光業界においては、西日本豪雨や北海道胆振東部地震等の甚大な自然災害や、台風２１号による高潮被害で関西国際空港が閉鎖される等のマイナス要因が多かったものの、訪日旅行では、東南アジアを中心に好調を持続し、平成３０年の訪日旅客総数が史上初めて３千万人の大台を超え、過去最高の３，１１９万人に達しました。

このような中、当期は、立山黒部アルペンルートの営業再開に合わせ、４月１０日に弥陀ヶ原ホテルが、そして４月１５日にホテル立山が営業を再開し、弥陀ヶ原ホテルは１１月４日まで、ホテル立山は１１月３０日まで営業いたしました。

営業の推移を概観いたしますと、ホテル立山につきましては、４、５月は、荒天により全線開通日の４月１５日と大型連休中の５月４日に立山高原バスが終日運休し、その影響で、宿泊人数、全体収入ともに前期を下回りましたが、６月以降は、早い梅雨明けやその後の好天、猛暑等により、好調に推移しました。９月以降は、大型台風の接近や初冬期の少雪の影響により宿泊収入は前期を下回ったものの、売店収入は、ホテル限定商品の販売強化により、前期を大きく上回りました。

その結果、ホテル立山の宿泊人員は、３３，４２０人（前期比９８％）となり、宿泊収入は前期比１０１％、食堂収入は前期比１００％、売店収入は前期比１０５％、収入合計では前期比１０２％となりました。

弥陀ヶ原ホテルにつきましては、シーズンを通して個人型商品と高付加価値商品が好調で、宿泊人員、宿泊収入ともに前期を大幅に上回りました。レストランと売店収入は訪日団体が減ったものの個人客が増加し前期を上回りました。

その結果、弥陀ヶ原ホテルの宿泊人員は、１８，６８４人（前期比１１０％）となり、宿泊収入は前期比１１２％、食堂収入は前期比１０１％、売店収入は前期比１１４％、収入合計では前期比１１１％となりました。

宇奈月国際ホテルにつきましては、４月から１１月は、首都圏発着の高単価アルペンルート関連企画団体が好調で、宿泊人数、全体収入ともに前期を大幅に上回りました。一方、１２月から３月は、地元客の利用が伸び悩んだことにより宿泊人数、全体収入ともに前期を下回りました。

その結果、宇奈月国際ホテルの宿泊人員は、２４，８３７人（前期比１１６％）となり、宿泊収入は前期比１１７％、売店等を加えた収入合計では前期比１１６％となりました。

この結果、当期の売上高は、ホテル立山収入７億９４百万円（前期比１０１％）、弥陀ヶ原ホテル収入４億３８百万円（前期比１１１％）、宇奈月国際ホテル収入４億３４百万円（前期比１１６％）、室堂飲料及び物品販売収入１０億７６百万円（前期比１０３％）となり、これにビル賃貸収入１億７７百万円（前期比１０１％）を加えた売上高合計は２９億２１百万円（前期比１０５

%）となりました。さらに、営業外収益１０百万円を加えた収益合計は２９億３１百万円（前期比１０５%）となった次第であります。

次に営業費につきましては、経営全般にわたる効率化につとめましたが、人件費、物件経費等が増加した結果、営業外費用を含めた費用合計は２９億３０百万円（前期比１０５%）となりました。

以上により、当期の経常利益は１百万円となり、さらに特別損益、法人税等および法人税等調整額を加減した結果、当期純損失は１億１０百万円を計上することとなりました。

ホテル立山宿泊営業成績表（平成３０年度）

項目		実績	前期比%
営業日数	日	230	100
宿泊人員	人	33,420	98
一日平均宿泊者数	人	146	98
営業収入	千円	794,576	101
宿泊収入	千円	791,393	101
雑収入	千円	3,182	103
一日平均収入	千円	3,454	101
客室数	室	81	95
延使用客室数	室	14,795	99
客室回転率	%	76	99
宿泊定員	人	260	92
宿泊効率	%	55	98

（備考）営業期間（当期）：平成30年４月15日～平成30年11月30日（宿泊日数229日）
営業期間（前期）：平成29年４月15日～平成29年11月30日（宿泊日数229日）

室堂飲食及び物品販売業営業成績表（平成３０年度）

項目		実績	前期比%
営業日数	日	230	100
室堂到達人員	人	771,586	102
営業収入	千円	1,076,862	103
食堂収入	千円	361,191	100
喫茶収入	千円	125,795	106
売店収入	千円	580,957	105
雑収入	千円	8,918	102
一日平均収入	千円	4,682	103
営業収入／室堂到達人員	円	1,395	101

（備考）営業期間（当期）：平成30年４月15日～平成30年11月30日
営業期間（前期）：平成29年４月15日～平成29年11月30日

弥陀ヶ原ホテル営業成績表（平成３０年度）

項目		実績	前期比%
営業日数	日	209	100
宿泊人員	人	18,684	110
一日平均宿泊者数	人	90	111
営業収入	千円	438,134	111
宿泊収入	千円	365,151	112
雑収入	千円	1,146	198
食堂収入	千円	41,315	101
売店収入	千円	30,520	114
一日平均収入	千円	2,096	112
客室数	室	52	100
延使用客室数	室	8,131	109
客室回転率	%	75	109
宿泊定員	人	175	100
宿泊効率	%	52	110

（備考）営業期間（当期）：平成30年４月10日～平成30年11月４日（宿泊日数208日）
営業期間（前期）：平成29年４月10日～平成29年11月５日（宿泊日数209日）

宇奈月国際ホテル営業成績表（平成３０年度）

項目		実績	前年比%
営業日数	日	365	100
宿泊人員	人	24,837	116
一日平均宿泊者数	人	68	115
営業収入	千円	434,180	116
宿泊収入	千円	374,045	117
追加飲食収入	千円	22,977	106
施設利用収入	千円	4,074	83
日帰り収入	千円	4,465	107
売店収入	千円	25,391	121
雑収入	千円	3,225	85
一日平均収入	千円	1,189	116
客室数	室	64	100
延使用客室数	室	10,324	116
客室回転率	%	44	116
宿泊定員	人	304	100
宿泊効率	%	22	116

（備考）営業期間（当期）：平成30年４月1日～平成31年３月31日
営業期間（前期）：平成29年４月1日～平成30年３月31日

財産および損益の状況の推移

区分	第４９期（平成27年度）	第５０期（平成28年度）	第５１期（平成29年度）	第５２期（当期）（平成30年度）
売上高（千円）	2,932,350	2,749,662	2,779,295	2,921,181
当期純利益（損失）（千円）	94,391	18,542	1,131	△110,020
１株当たり当期純利益（損失）	104円87銭	20円60銭	1円26銭	△122円25銭
総資産（千円）	2,119,321	2,026,301	1,993,223	1,941,253

令和元年度の取り組み

観光業界では、価格競争と観光地間競合により、引き続き厳しい経営環境が予想されます。その中で、効率的な事業運営と収益の確保に努め、経営基盤の安定化をはかってまいります。

１営業施策

大手旅行代理店と自社インターネットを販売経路の主軸とし、ホテル三館のそれぞれの立地、特長を踏まえた内容での営業、宣伝活動を展開いたします。旅行代理店による販売の個人化対策として、繁忙期における企画団体の設定数を絞り込み、個人向け客室の確保による受け入れ態勢を構築し、高付加価値商品の造成を行います。また、高品質・高単価な企画団体への転換や姉妹館連泊商品の設定により商品力・ブランド力の向上を図り増収に繋げてまいります。さらに、旅行代理店販売員の現地研修の積極的受け入れとフォローセールスの強化、弥陀ヶ原ホテルリニューアル２５周年に伴うＰＲの強化により販売力の向上を図り集客増につなげてまいります。

また、自社インターネットプランの拡充を進めるとともに海外予約サイトの販売強化を図り、多様化する旅客ニーズに合わせた商品を造成し、きめ細やかな情報発信を継続的に行い、安定した顧客の獲得に結びつけてまいります。

これまでも好評をいただいております「雪の大谷散策」や「星空観察会」などのイベント・アクティビティーにつきましても、引き続き企画の充実に努めてまいります。

団体昼食においては、効率化と差別化を両立させるため、各施設の独自性を出した高単価・差別化メニューの拡充等の営業施策により、収益確保に繋げてまいりたいと存じます。

お越しいただいたお客様には、基本的な接遇の徹底と、各館の特徴を踏まえたサービスの提供を通じて、顧客満足度の向上を図り、さらに、ホテル三館の顧客情報の蓄積と共有化を図り、顧客サービスの向上と、リピーターの獲得に努めてまいります。

２宿泊・食品の安全確保と自然保護

お客様に安心、信頼してご利用いただけるよう、施設や食品の安全には、今後とも万全を尽くしてまいります。施設の日常点検と整備、そして食品の衛生管理と品質管理を徹底してまいります。

また、環境に配慮した施設設備の維持更新、ごみ処理対策の徹底等、引き続き、立山黒部の大自然を守り伝えるための努力を続けてまいります。

これからも、佐伯初代社長を始めとする幾多の先人の方々の、アルペンルート創業にかけた理想と理念を受け継ぎ、積極的な誘客促進と、安全かつ満足度の高い受け入れ態勢の構築に全力を傾注してまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

財務諸表

貸借対照表の要旨

（平成３１年３月３１日現在）　（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	557	**流動負債**	235
現金及び預金	435	支払手形	7
売掛金	5	買掛金	12
未収金	8	短期借入金	60
商品	2	未払金	66
貯蔵品	96	未払費用	7
前払金	6	未払法人税等	8
前払費用	0	未払消費税等	16
その他	2	預り金	17
		賞与引当金	37
固定資産	1,383	前受収益	2
有形固定資産	1,169	**固定負債**	605
建物	610	長期借入金	60
建物附属設備	275	退職給付引当金	543
構築物	80	長期未払金	2
機械及び装置	7		
車両及び運搬具	7	**負債合計**	841
器具及び備品	40	（純資産の部）	
土地	119		
建設仮勘定	27	**株主資本**	1,099
無形固定資産	7	**資本金**	900
ソフトウェア	6	**利益剰余金**	199
電話加入権	1	その他利益剰余金	199
投資その他の資産	206	繰越利益剰余金	199
投資有価証券	73		
関係会社株式	35		
繰延税金資産	66		
その他	31	**純資産合計**	1,099
資産合計	1,941	**負債・純資産合計**	1,941

損益計算書の要旨

（平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日）（単位：百万円）

科目	金額
売上高	2,921
売上原価	814
売上総利益	2,107
販売費及び一般管理費	2,114
営業損失	7
営業外収益	10
営業外費用	1
経常利益	1
特別利益	0
特別損失	123
税引前当期純損失	121
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等調整額	△11
当期純損失	110

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

株主資本等変動計算書

（平成３０年４月１日から平成３１年３月３１日まで）　（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	評価・換算差額等	純資産合計
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		その他有価証券評価差額金	
		繰越利益剰余金				
当期首残高	900	309	309	1,209	△85	1,124
当期変動額						
当期純損失		△110	△110	△110		△110
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					85	85
当期変動額合計	－	△110	△110	△110	85	△24
当期末残高	900	199	199	1,099	0	1,099

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要／役員 （令和元年６月27日現在）

●設立年月日
昭和４２年１２月２４日

●資本金
９億円

●発行済株式総数
９００，０００株

●株主数
２名　立山黒部貫光株式会社
富山地方鉄道株式会社

●役　員

代表取締役社長		見角　要
専務取締役	経営企画室長	中川　修
常務取締役	ホテル営業部長	石野一美
常務取締役	技術環境部長	高江　均
常務取締役	経理部長	中村直幸
取締役		辻川　徹
取締役	総務部長	秋元一秀
取締役	物販事業部長	大谷真一
取締役	宇奈月国際ホテル支配人	川高健裕
監査役		川嶋芳明
監査役		中田邦彦

アルペンルートと会社のあゆみ

昭和27年 4月 1日	立山開発鉄道株式会社（ＴＫＲ）設立（資本金2,500万円）
29年 8月13日	鋼索線（千寿ヶ原～美女平）営業開始
30年 7月 1日	高原バス（美女平～弘法）営業開始
31年10月 4日	弥陀ヶ原ホテル営業開始（ＴＫＲ）
35年 5月 8日	立山黒部有峰開発株式会社（ＴＫＡ）設立
39年 6月20日	高原バス全線（美女平～室堂）営業開始
8月 1日	関電トンネルトロリーバス（扇沢～黒部ダム）営業開始
11月 7日	ＴＫＡ第３４回取締役会で新会社（ＴＫＫ）設立を決議
12月25日	立山黒部貫光株式会社（ＴＫＫ）設立(資本金４億円)
42年12月24日	立山貫光ターミナル株式会社（ＴＫＴ）設立(資本金3,000万円)
44年 5月 8日	室堂ターミナルビル建設工事着工
7月20日	黒部ケーブルカー（黒部湖～黒部平）営業開始
12月 9日	立山トンネル貫通
45年 7月 1日	富山～信濃大町間を「立山黒部アルペンルート」と命名
7月25日	立山ロープウェイ（黒部平～大観峰）営業開始
12月15日	一般自動車道　桂台～美女平間供用開始（ＴＫＡ）
46年 4月25日	立山トンネルバス（室堂～大観峰）営業開始
6月 1日	立山黒部アルペンルート全線開業
47年 8月28日	室堂ターミナルビル全館完成
9月 1日	ホテル立山営業開始
54年10月 1日	ＴＫＫとＴＫＡが合併
61年 4月11日	宇奈月国際ホテル新築工事着工
62年 9月21日	宇奈月国際ホテル営業開始
平成 2年10月 1日	立山黒部サービス株式会社（ＴＫＳ）設立（資本金1億円）
3年10月11日	弥陀ヶ原ホテル改築のため閉館
6年 7月12日	弥陀ヶ原ホテル改築営業開始
12年 4月 1日	弥陀ヶ原ホテルＴＫＲから経営受託
17年10月 1日	ＴＫＫとＴＫＲが合併 （存続会社 立山黒部貫光株式会社）
21年 4月 1日	宇奈月国際ホテルＴＫＫから経営受託

ホテル3館のご案内

立山黒部アルペンルート

ホテル立山

〒930-1414富山県中新川郡立山町芦峅寺室堂
☎(076)463-3345　FAX(076)463-3348
https://h-tateyama.alpen-route.co.jp/

弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412富山県中新川郡立山町芦峅寺弥陀ヶ原
☎(076)442-2222　FAX(076)442-2242
https://midagahara.alpen-route.co.jp/

宇　奈　月　温　泉

黒部峡谷宇奈月温泉 宇奈月国際ホテル

〒938-0282富山県黒部市宇奈月温泉7-26
☎(0765)62-1236　FAX(0765)62-1808
https://unazukikokusai.alpen-route.co.jp/

(編集・発行) 立山貫光ターミナル株式会社
〒930-8558富山県富山市桜町1-1-36
☎(076)441-3331(代表)　FAX(076)433-1185